

大谷大学
真宗総合研究所

研究所紀要

創刊号

発 刊 の 辞

大谷大学真宗総合研究所が発足してから、まる三年になります。その間大学は、研究所設置の意義を問いつづけてまいりました。

本学の研究所は、あたらしい技術の開発や、その成果の実用を目的とするいわゆる産業研究所とは、あきらかに異なります。目的を背にし、企業の利益を計る研究所と、同一に論じてはなりません。本研究所の設立の意義は、おそらく永遠の課題として、問いつづけられることでありましょう。また、それが本研究所の生命でないかと思ひます。永遠の問いをもつかぎり、研究所の歩みは決してとだえることはないと確信いたしております。

研究所の意義が、私的な見解ではなく、公のものとして確認されるには、ながい年月が必要でありましょう。しかしそれは、生きた伝燈のあかしで、決してもどかしいことではありません。

ここに昭和五十七年度の研究業績を、おくれげながら世におくることになりました。研究所充実の一里塚になつてほしいと思います。孜孜として研究に従事し、貴重な業績を残された諸先生に、心から御礼を申し上げます。

大谷大学真宗総合研究所

所 長 北 西 弘

目次

国訳『大乘阿毘達磨雜集論』卷一刪補……………	櫻部建(一)
征服王朝期における信仰形態……………	藤島建樹(一四)
——金、元交替期の河東の場合——	
金代の寺觀名額發売について……………	桂華淳祥(二五)
——山西の石刻資料を手がかりに——	
外国語教育(学習)の思想(中間報告)……………	岩見至(四二)
	友田孝興
	市橋弘道
	禿憲仁
	安富信哉

近代仏教学の動向……………	清田	実(八五)
——日本と西洋の比較——		

昭和五十七年度研究所報告……………		(一〇三)
執筆者紹介……………		(一二三)

Chih-I's Interpretation of <i>jñeyavāraṇa</i> ……………	Paul L. SWANSON	(51)
An Application of the Three-Fold Truth Concept		
Abhidharmasamuccaya における十二支縁起の解釈……………	松田和信	(29)
欧米における浄土教研究の紹介……………	ロバート・F・ローズ	(18)
——前掲・英文浄土教関係著作・論文目録——		
Bibliography of English-Language Works on Pure Land Buddhism : 1960 to the Present		(1)

CONTENTS

Emendation and Additions to the Japanese	SAKURABE Hajime (1)
Translation of the <i>Abhidharmasamuccaya</i> contained in the <i>Kokuyaku Issaikyo</i>	
Religious Morphology of the Conquest Dynasties in	FUJISHIMA Tateki (14)
China — The Case of Ho-tung during the Transition from the Kin to Yüan Dynasties —	
On the Sale of Temple Plaques to Buddhist and Taoist	KEIKA Atsushi (25)
Temples During the Kin Dynasty — Using Stone Stele Inscriptions from Shansi as Sources —	
The Philosophy of Foreign Language Education	IWAMI Itaru (42)
(Classroom Study) : Interim Report	
	TOMODA Takaoki
	ICHIHASHI Hiromichi
	KAMURO Kenji
	YASUTOMI Shinya
The Trend of Modern Buddhist Studies	Minoru KIYOTA (85)
— Comparison Between Japan and the West —	

Report on the Activities of the Institute, 1982 Academic Year	(103)

Chih-I's Interpretation of <i>jñeyāvaraṇa</i>	Paul L. SWANSON (51)
An Application of the Three-Fold Truth Concept	
Interpretation of the Twelffold Chain of	MATSUDA Kazunobu (29)
Dependent Origination in the <i>Abhidharmasamuccaya</i> ,	
Review of the Study of Pure Land Buddhism in	Robert F. RHODES (18)
the West — An Introduction to the Bibliography of English-language Works on Pure Land Buddhism —	
Bibliography of English-language Works on Pure	(1)
Land Buddhism: 1960 to the Present	

『紀要』創刊号の発刊にいたしました。諸先輩達の大学付置研究所設立の永い願いを想う時、この紀要初刊の重みを感じずにはおれない。ともかくも、昭和57年度から全面的に始動したその年の研究所活動の一端が、報告できておればよしとしたい。すべてはこれからである。特に指定研究は、委託研究の「大蔵経学術用語研究」は他の出版目的があるため別として、「真宗総合研究」「海外仏教研究」いずれもが、まだ研究所活動の独自の成果を発表しうる段階ではない。しかし「海外仏教研究」は、ロバート・ローズ研究補助員が中心となつての着実な収集によつて、浄土教関係の英文著作・論文目録を掲載できた。

一般研究は、共同研究の2チームがどちらも次年度へ延長になった。そのため岩見チームのみが、興味ある中間発表を行うにとどまった。個人研究の方は、一年間の成果を発表する義務が課せられているため、多少の無理があつてもまとめて頂いた。今後『紀要』の充実のために、ご意見をお寄せ下さい。(T・T)

大谷大学真宗総合研究所 研究所紀要 創刊号

(昭和57年度 研究報告)

昭和59年3月30日印刷

昭和59年3月31日発行

編集者 大谷大学真宗総合研究所
代表者 所長 北西 弘

印刷者 京都 石田大成社

発行者 大谷大学真宗総合研究所

〒604 京都市北区小山上総町
TEL (代) 432-3131・内線555